

■ 昼間歩けば、つまずくことはありません。(11:9-10)

「昼間の時間が12時間あるではありませんか。」という質問を用いて、イエス様は定まった時が来るまでご自分の働きは終わらないと弟子たちに説明しました。当時の人々は光があるうちに働き、暗くなると仕事を終わらせていました。

光であるイエス様が世におられる間は、昼間のように働くことができます。また、弟子たちも躓(つまづ)くことはありません。十字架の時が来るまで、弟子たちはユダヤ人の威嚇から守られます。それまでイエス様は働き、人々はイエス様によって恵みを受けるのです。

■ メッセージのポイント

病気であるラザロとその妹たちの話です。病気になった兄のために、妹たちはイエス様にメッセージを送りました。短いメッセージには彼女たちの信仰の告白が記されていました。

(1) 祈りの主役は神様であります。

(2) 神様の時は人間の時と異なります。

(3) 神様の時を待ち望みます。